

IN THE U.S. PATENT AND TRADEMARK OFFICE

#2
JC914 U.S. PRO
09/686789
10/12/00

Applicant(s): HARA, Makoto

Application No.:

Group:

Filed: October 12, 2000

Examiner:

For: METHOD, APPARATUS AND RECORDING MEDIUM FOR PRINTING CONTROL

L E T T E R

Assistant Commissioner for Patents
Box Patent Application
Washington, D.C. 20231

October 12, 2000
2091-0221P-SP

Sir:

Under the provisions of 35 USC 119 and 37 CFR 1.55(a), the applicant hereby claims the right of priority based on the following application(s):

<u>Country</u>	<u>Application No.</u>	<u>Filed</u>
JAPAN	289131/1999	10/12/99

A certified copy of the above-noted application(s) is(are) attached hereto.

If necessary, the Commissioner is hereby authorized in this, concurrent, and future replies, to charge payment or credit any overpayment to deposit Account No. 02-2448 for any additional fees required under 37 C.F.R. 1.16 or under 37 C.F.R. 1.17; particularly, extension of time fees.

Respectfully submitted,

BIRCH, STEWART, KOLASCH & BIRCH, LLP

By: 

MICHAEL K. MUTTER

Reg. No. 29,680

P. O. Box 747

Falls Church, Virginia 22040-0747

Attachment
(703) 205-8000
/rem

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

174477
October 12, 2000
Biren, Stewart
Kolasch & Bire
(703) 205-8000
2091-2219
1041

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されて
いる事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed
with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application:

1999年10月12日

出 願 番 号
Application Number:

平成11年特許願第289131号

出 願 人
Applicant(s):

富士写真フイルム株式会社

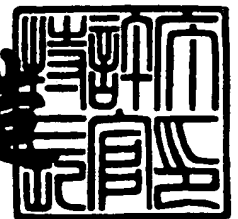
JC914 U.S. PRO
09/686789
10/12/00

CERTIFIED COPY OF
PRIORITY DOCUMENT

2000年 8月11日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



【書類名】 特許願

【整理番号】 P24803J

【提出日】 平成11年10月12日

【あて先】 特許庁長官 近藤 隆彦 殿

【国際特許分類】 G03B 27/14
G06F 1/00

【発明者】

【住所又は居所】 神奈川県足柄上郡開成町宮台 7 9 8 番地 富士写真フイルム株式会社内

【氏名】 原 誠

【特許出願人】

【識別番号】 000005201

【住所又は居所】 神奈川県南足柄市中沼 2 1 0 番地

【氏名又は名称】 富士写真フイルム株式会社

【代表者】 宗雪 雅幸

【代理人】

【識別番号】 100073184

【住所又は居所】 横浜市港北区新横浜 3 - 1 8 - 2 0 B E N E X S -
1 7 階

【弁理士】

【氏名又は名称】 柳田 征史

【電話番号】 045-475-2623

【選任した代理人】

【識別番号】 100090468

【住所又は居所】 横浜市港北区新横浜 3 - 1 8 - 2 0 B E N E X S
- 1 7 階

【弁理士】

【氏名又は名称】 佐久間 剛

【電話番号】 045-475-2623

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 008969

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9814441

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 プリント制御方法および装置並びに記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像のプリント出力に関する注文情報に基づいてプリント手段におけるプリント出力を制御するプリント制御方法において、

前記注文情報を受け付け、

該注文情報に基づくプリントが自動プリントの対象であるか手動プリントの対象であるかを判断し、

自動プリントの対象であると判断された場合には、前記注文情報に基づいてプリントを行うよう前記プリント手段にプリント指示を行い、

手動プリントの対象であると判断された場合には、所定のプリント指示がなされるまで前記プリント手段へのプリント指示を停止することを特徴とするプリント制御方法。

【請求項 2】 前記注文情報は、ネットワークを介して転送されてなるものであることを特徴とする請求項 1 記載のプリント制御方法。

【請求項 3】 前記注文情報の内容に応じて自動プリントが可能であるか手動プリントが可能であるかの判断基準を示すテーブルを参照して、前記判断を行うことを特徴とする請求項 1 または 2 記載のプリント制御方法。

【請求項 4】 前記注文情報に、前記自動プリントの対象であるか前記手動プリントの対象であるかを表す情報が含まれてなることを特徴とする請求項 1 または 2 記載のプリント制御方法。

【請求項 5】 画像のプリント出力に関する注文情報に基づいてプリント手段におけるプリント出力を制御するプリント制御装置において、

前記注文情報を受け付ける受付手段と、

該注文情報に基づくプリントが自動プリントの対象であるか手動プリントの対象であるかを判断する判断手段と、

自動プリントの対象であると判断された場合には、前記注文情報に基づいてプリントを行うよう前記プリント手段にプリント指示を行う指示手段と、

手動プリントの対象であると判断された場合には、所定のプリント指示がなさ

れるまで前記プリント手段へのプリント指示を停止する確認手段とを備えたことを特徴とするプリント制御装置。

【請求項 6】 前記注文情報は、ネットワークを介して転送されてなるものであることを特徴とする請求項 5 記載のプリント制御装置。

【請求項 7】 前記判断手段は、前記注文情報の内容に応じて自動プリントが可能であるか手動プリントが可能であるかの判断基準を示すテーブルを参照して、前記判断を行う手段であることを特徴とする請求項 5 または 6 記載のプリント制御装置。

【請求項 8】 前記注文情報に、前記自動プリントの対象であるか前記手動プリントの対象であるかを表す情報が含まれてなることを特徴とする請求項 5 または 6 記載のプリント制御装置。

【請求項 9】 画像のプリント出力に関する注文情報に基づいてプリント手段におけるプリント出力を制御するプリント制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体において、

前記プログラムは、前記注文情報を受け付ける手順と、

該注文情報に基づくプリントが自動プリントの対象であるか手動プリントの対象であるかを判断する手順と、

自動プリントの対象であると判断された場合には、前記注文情報に基づいてプリントを行うよう前記プリント手段にプリント指示を行う手順と、

手動プリントの対象であると判断された場合には、所定のプリント指示がなされるまで前記プリント手段へのプリント指示を停止する手順とを有することを特徴とするコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【請求項 10】 前記注文情報は、ネットワークを介して転送されてなるものであることを特徴とする請求項 9 記載のコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【請求項 11】 前記判断を行う手順は、前記注文情報の内容に応じて自動プリントが可能であるか手動プリントが可能であるかの判断基準を示すテーブルを参照して、前記判断を行う手順であることを特徴とする請求項 9 または 10 記載のコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【請求項 1 2】 前記注文情報に、前記自動プリントの対象であるか前記手動プリントの対象であるかを表す情報が含まれてなることを特徴とする請求項 9 または 1 0 記載のコンピュータ読取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、注文情報を受けて、この注文情報に応じてプリントを行うようプリント手段を制御するプリント制御方法および装置並びにプリント制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体に関するものである。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

ユーザが撮影した写真画像をデジタル化して画像サーバに蓄積したり、C D - R に記録してユーザに提供したり、写真の焼き増し注文に応じる等、写真に関する種々のデジタルフォトサービスを行うデジタルフォトサービスシステムが知られている。このようなシステムにおいて、ユーザはC D - R に記録された画像から画像を再現するための専用ビューワーソフトをパソコンにインストールして画像を再生し、焼き増し注文を行う場合には、ビューワーソフトに組み込まれた注文機能を用いて注文内容を記述した注文ファイルを作成する。そして、ユーザはこの注文ファイルとC D - R とを写真店に持参し、写真店においては注文ファイルとC D - R とをラボに受け渡して、注文された写真画像を作成することとなる。

【0 0 0 3】

また、このデジタルフォトサービスシステムの一形態として、ユーザのデジタル画像をサービス提供者のシステムに保管（登録）しておき、インターネット等のネットワークを介してプリント注文等を受け付けるネットワークフォトサービスシステムも提案されている。

【0 0 0 4】

このようなネットワークフォトサービスシステムにおいては、デジタルフォト

サービスをユーザに提供するにあたり、大手集配ラボにスキャナ、プリンタ、大容量ディスクを有するサーバコンピュータ（以下、「画像サーバ」という）を設置して、ユーザが撮影した写真を画像サーバに蓄積し、ユーザがその画像サーバにネットワークを介してアクセスできるようにすることによって、写真の焼き増し注文、電子メールへの写真画像添付、写真画像データのダウンロード等の各種サービスを提供することが考えられている。このようなサービスにおいて、ユーザはパソコンにおいて所定のアプリケーションソフトを用いて画像サーバにアクセスし、上述した写真の焼き増し注文等を行うことができる。一方、ラボにおいては、ユーザからの注文情報に基づいて、焼き増しプリント、写真入りポストカードの作成、アルバムの作成、画像の合成、トリミング等の写真処理を画像データに対して施し、処理が施されたデータをユーザに転送したり、処理が終了した旨を電子メールでユーザに知らせる等の処置を採ることができる。

【0005】

ここで「注文情報」とは、具体的にはサービス内容（焼き増し、ポストカード作成等）を指定する処理番号、写真を指定する画像番号、プリントサイズ、プリント枚数、プリント面質（艶あり、艶消し）、紙厚、写真処理の内容、トリミングの指定情報等のことである。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】

上述したネットワークフォトサービスシステムでは、ラボにおいてオペレータが注文情報の内容を確認した後にプリントを行うようにしている。とくに、注文情報の内容がポストカードのように文字を含むプリント依頼である場合には、文字の内容や文字切れの確認を行う必要があるため、オペレータの確認作業が不可欠である。ところが、注文情報の内容によっては、例えば1枚のみ通常のプリントを行う場合のように、オペレータが確認することなく直ちにプリントを行うことができるものが存在するため、全ての注文情報に対して確認作業を行うことは、オペレータの負担が大きい。

【0007】

本発明は上記事情に鑑みなされたものであり、注文情報に応じてプリントを行

う際に、オペレータの負担を軽減できるプリント制御方法および装置並びにプリント制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムを記録したコンピュータ読取り可能な記録媒体を提供することを目的とするものである。

【0008】

【課題を解決するための手段】

本発明によるプリント制御方法は、画像のプリント出力に関する注文情報に基づいてプリント手段におけるプリント出力を制御するプリント制御方法において

前記注文情報を受け付け、

該注文情報に基づくプリントが自動プリントの対象であるか手動プリントの対象であるかを判断し、

自動プリントの対象であると判断された場合には、前記注文情報に基づいてプリントを行うよう前記プリント手段にプリント指示を行い、

手動プリントの対象であると判断された場合には、所定のプリント指示がなされるまで前記プリント手段へのプリント指示を停止することを特徴とするものである。

【0009】

ここで、「注文情報」は、ユーザがCD-Rからあるいはダウンロードにより取得した画像を参照して、ユーザのパソコン等において作成されるものであり、例えばインデックス画像の各画像に対応して注文内容を書き込みあるいは選択可能な形式、写真画像のファイル名に対応して注文内容を書き込みあるいは選択可能な形式等種々の形式のものをを用いることができる。また、注文情報の内容としては、サービス内容（焼き増し、ポストカード作成等）を指定する処理番号、写真を指定する画像番号、プリントサイズ、プリント枚数、プリント面質（艶あり、艶消し）、紙厚、写真処理の内容、トリミングの指定情報等が挙げられる。

【0010】

なお、注文情報の受付の形態としては、ネットワークを介して受け付けるものであってもよく、FD、MO、ZIPなどのリムーバブルメディアに注文情報を記録し、このメディアをラボに持ち込んで注文情報を読み取ることにより注文情

報を受け付けるものであってもよい。

【0011】

また、「注文情報に基づくプリントが自動プリントの対象であるか手動プリントの対象であるかを判断する」とは、注文情報の内容に応じて自動プリントを行うべきか手動プリントを行うべきかを判断することをいう。例えば、注文情報が「一般プリントを5枚」という内容である場合には、オペレータの確認は不要であるため自動プリントの対象であると判断し、注文情報が「ポストカードを20枚」という内容である場合には、オペレータの確認が必要であるため手動プリントの対象であると判断する。

【0012】

さらに、「プリント手段にプリント指示を行う」とは、注文情報の内容に応じた画像データをプリント手段に入力して、プリント手段に注文情報に応じたプリントを行わせることをいう。なお、プリント手段が画像データが入力されると直ちにプリントを実行するものである場合には、画像データをプリント手段へ入力することにより、プリント指示が行われることとなる。

【0013】

また、「所定のプリント指示」とは注文情報の内容をオペレータが確認した後にプリント手段に対してプリントを実行させるための指示のことをいう。

【0014】

さらに、「プリント手段へのプリント指示を停止する」とは、手動プリントの対象であると判断された場合に、プリント指示を行うことなくその注文情報については処理を一時中断しておくことをいう。ここで、プリント手段が画像データが入力されると直ちにプリントを実行するものである場合には、プリント手段への画像データの入力を停止することにより、プリント指示が停止されることとなる。なお、注文情報を連続して処理する場合に、手動プリントの対象であると判断された注文情報が複数ある場合には、複数の注文情報に対するプリント指示が停止されることとなり、オペレータが一定時間毎にプリント指示が停止された注文情報の内容を確認することにより、この手動プリントの対象とされた注文情報に基づくプリントが行われることとなる。

【0015】

また、プリント手段は複数存在するものであってもよい。この場合、自動プリント専用および手動プリント専用のプリント手段を設け、自動プリントの対象であると判断された場合には、自動プリント専用のプリント手段にてプリントを行い、手動プリントの対象であると判断された場合には、手動プリント専用のプリント手段にてプリントを行うようにしてもよい。

【0016】

なお、本発明によるプリント制御方法においては、前記注文情報は、ネットワークを介して転送されてなるものであることが好ましい。

【0017】

また、本発明によるプリント制御方法においては、前記注文情報の内容に応じて自動プリントが可能であるか手動プリントが可能であるかの判断基準を示すテーブルを参照して、前記判断を行うことが好ましい。

【0018】

ここで、「テーブル」は、注文情報の内容に応じて自動プリントが可能であるか手動プリントすべきかの判断基準が記述されてなるものであり、このテーブルを参照すれば注文情報に基づくプリントが自動プリントの対象であるか手動プリントの対象であるかが分かるようにされているものである。

【0019】

さらに、本発明によるプリント制御方法においては、前記注文情報に、前記自動プリントの対象であるか前記手動プリントの対象であるかを表す情報が含まれてなることが好ましい。

【0020】

本発明によるプリント制御装置は、画像のプリント出力に関する注文情報に基づいてプリント手段におけるプリント出力を制御するプリント制御装置において、

前記注文情報の注文を受け付ける受付手段と、

該注文情報に基づくプリントが自動プリントの対象であるか手動プリントの対象であるかを判断する判断手段と、

自動プリントの対象であると判断された場合には、前記注文情報に基づいてプリントを行うよう前記プリント手段にプリント指示を行う指示手段と、

手動プリントの対象であると判断された場合には、所定のプリント指示がなされるまで前記プリント手段へのプリント指示を停止する確認手段とを備えたことを特徴とするものである。

【0021】

なお、本発明によるプリント制御装置においては、前記注文情報は、ネットワークを介して転送されてなるものであることが好ましい。

【0022】

また、本発明によるプリント制御装置においては、前記判断手段は、前記注文情報の内容に応じて自動プリントが可能であるか手動プリントが可能であるかの判断基準を示すテーブルを参照して、前記判断を行う手段であることが好ましい。

【0023】

さらに、本発明によるプリント制御装置において、前記注文情報に、前記自動プリントの対象であるか前記手動プリントの対象であるかを表す情報が含まれてなることが好ましい。

【0024】

なお、本発明によるプリント制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラムとして、コンピュータ読取り可能な記録媒体に記録して提供してもよい。

【0025】

【発明の効果】

本発明によれば、注文情報に基づくプリントが自動プリントの対象であると判断された場合には、プリント手段にプリント指示がなされて注文情報に基づいたプリントが行われる。一方、注文情報に基づくプリントが手動プリントの対象であると判断された場合には、所定のプリント指示がなされるまでプリント手段へのプリント指示が停止される。このため、オペレータの確認が不要な場合には直ちにプリントがなされ、オペレータの確認が必要な場合にはその確認が終了するまでプリントを停止することができる。したがって、自動プリントの対象である

場合にはオペレータがその内容を確認する必要がなくなり、さらに注文情報を連続して処理する場合にも手動プリントの対象となった注文情報についてはプリントが停止されることから、プリント作業を常時監視する必要がなくなり、これにより、オペレータの負担を軽減して、プリント作業を効率よく行うことができる。

【0026】

【発明の実施の形態】

以下図面を参照して本発明の実施形態について説明する。

【0027】

図1は本発明の実施形態によるプリント制御装置を適用したネットワークフォトサービスシステムの構成を示す概略ブロック図である。

【0028】

図1において、ユーザ端末11はユーザのパソコン、あるいはパソコンを持たないユーザのためにサービス拠点等に設置された注文処理端末である。また、ラボ12は、プリント出力を実施するシステムであり、ユーザが持ち込んだフィルムから画像を読み取って高解像度の画像データSHおよび低解像度の画像データSLを得る読取手段13と、読み取った画像データのうち高解像度の画像データSHを蓄積するデータベース14と、低解像度の画像データSLをネットワーク19を介してユーザ端末11に出力する出力手段15と、ユーザにより注文情報が記述された注文ファイルFを受け付け、注文ファイルFに記述された注文情報に基づいてプリンタ18の駆動を制御するプリント制御手段17とを備える。なお、ユーザはラボ12に直接プリントを依頼するようにしてもよく、注文受付を専門に行う注文受付店を介して登録を行うようにしてもよい。なお、ユーザ端末11とラボ12とは、ネットワーク19を介して画像データおよび注文ファイルFのやりとりを行うものである。

【0029】

図2はプリント制御手段17の構成を示す概略ブロック図である。図2に示すように、プリント制御手段17は、ユーザにより注文情報が記述された注文ファイルFを受け付ける注文受付手段21と、注文ファイルFを一時的に保管する一

時保管手段 22 と、注文ファイル F に記述された注文情報に基づくプリントが自動プリントの対象であるか手動プリントの対象であるかを判断する識別手段 23 と、手動プリントの対象であると判断された場合に、プリント内容の確認を行うための確認手段 24 とを備える。

【0030】

識別手段 23 は、注文情報の内容であるプリント種別や枚数区分などに応じて、注文情報に基づくプリントが自動プリントの対象であるか手動プリントの対象であるかの判断基準を表すテーブルを記憶しており、このテーブルを参照して注文情報に基づくプリントが自動プリントの対象であるか手動プリントの対象であるかを判断するものである。このテーブルの具体的な例を図 3 に示す。図 3 に示すテーブルにおいては、プリント種別とその上限枚数が定められており、上限枚数を超えていた場合に手動プリント対象であると判断するものである。例えば、一時保管手段 22 に保管されている注文情報の内容が図 4 に示すものの場合、番号 001 は上限枚数を超えるため手動プリントの対象であると判断されるが、番号 002, 003 は上限枚数を超えていないため自動プリントの対象であると判断される。

【0031】

すなわち、注文情報の内容がポストカードである場合には、文字の内容や文字切れを確認する必要があるが、大量にプリントを行った後にそれを確認したのでは、文字切れなどが存在した場合には、そのプリントが無駄となる。また、一般のプリントの場合には文字切れなどを確認する必要はないが、プリント数が多い場合にはプリント終了後にミスに気が付いた場合、それまでの大量のプリントが無駄となる。したがって、注文情報の内容がポストカードの場合には、比較的少ない枚数である 10 枚以上のプリント依頼の場合に手動プリントの対象とし、一般のプリントの場合には比較的多い枚数である 100 枚以上のプリント依頼の場合に手動プリントの対象とするようにテーブルが設定されてなるものである。

【0032】

そして、識別手段 23 は注文ファイル F の注文情報を判断し、自動プリントの対象であると判断した場合には、プリントすべき高解像度の画像データ SH をデ

ータベース 1 4 から読み出し、これを注文情報とともにプリンタ 1 8 に転送してプリンタ 1 8 にプリントを行わせる。一方、手動プリントの対象であると判断した場合には、注文ファイル F を確認手段 2 4 に転送し、ここでこの注文ファイル F を一時的に保管する。なお、一時保管手段 2 2 に複数の注文ファイル F が保管されている場合には、連続して注文情報の内容を判断し、自動プリントの対象である場合には順次プリンタ 1 8 においてプリントを行い、手動プリントの対象である場合には、プリントが待機されることとなる。

【 0 0 3 3 】

確認手段 2 4 は、キーボード、マウスなどの入力手段および画像を表示するためのモニタ（いずれも不図示）からなるものであり、プリント作業中に定期的にオペレータにチェックされ、手動プリントの対象である注文ファイル F が保管されている場合には、オペレータの指示によりプリントの内容がモニタに表示される。オペレータはモニタに表示されたプリント内容を確認し必要であれば修正を施して、プリントを実行する旨を入力手段から入力する。これにより、必要な高解像度画像データ S H がデータベース 1 4 から読み出されて、これが注文情報とともにプリンタ 1 8 に転送され、プリントが行われることとなる。

【 0 0 3 4 】

次いで、本実施形態の動作について説明する。図 5 は本実施形態の動作を示すフローチャートである。まず、ユーザは注文受付店あるいはラボ 1 2 に直接ネガフィルムを持ち込んで、画像の登録を行う（ステップ S 1）。ラボ 1 2 においてはユーザから預かったフィルムを読取手段 1 3 において読み取って、フィルムに記録された画像を表す高解像度画像データ S H および低解像度画像データ S L を取得する（ステップ S 2）。そして、このように得られた高解像度画像データ S H がデータベース 1 4 に蓄積される（ステップ S 3）。一方、ユーザに対しては、ユーザ端末 1 1 上で画像を表示、確認するための低解像度の画像データ S L が出力手段 1 5 により提供される（ステップ S 4）。低解像度画像データ S L はそのデータをネットワーク 1 9 上でそのユーザにのみ限定公開するという方法で提供される。これにより、ユーザはユーザ端末 1 1 上で画像を確認しながら注文内容を決定できるようになる。

【 0 0 3 5 】

ユーザは、低解像度画像データ S L を W e b ブラウザ等により閲覧し（ステップ S 5）、注文を依頼するための注文情報が記述された注文ファイル F を作成する（ステップ S 6）。このようにして作成された注文ファイル F は、ネットワーク 1 9 を介してラボ 1 2 に転送される（ステップ S 7）。

【 0 0 3 6 】

ラボ 1 2 においては、注文ファイル F を注文受付手段 2 1 において受け付けて（ステップ S 8）、一時保管手段 2 2 に一時保管する。そして、識別手段 2 3 において、注文ファイル F に記述された注文情報が自動プリントの対象であるか手動プリントの対象であるかが判断される（ステップ S 9）。自動プリントの対象であると判断された場合には、プリント対象の高解像度画像データ S H がデータベース 1 4 から読み出され、注文ファイル F とともにプリンタ 1 8 に入力されてプリントが行われる（ステップ S 1 3）。一方、手動プリントの対象であると判断された場合には、その注文ファイル F は確認手段 2 4 において一時保管される（ステップ S 1 0）。

【 0 0 3 7 】

オペレータは定期的に確認手段 2 4 に注文ファイル F が保管されているかを確認し、保管されている場合には注文ファイル F の注文情報に基づいて、オペレータの指示によりプリント内容がモニタに表示される。そして、オペレータはモニタに表示されたプリント内容を確認し、その内容でよければその旨を入力手段から入力して（ステップ S 1 1）、プリントを行う（ステップ S 1 3）。一方、修正が必要な場合には、ステップ S 1 1 が肯定されるまでその旨を入力手段から入力して修正を行い（ステップ S 1 2）、ステップ S 1 1 が肯定されるとプリントを行う（ステップ S 1 3）。

【 0 0 3 8 】

このように、本実施形態においては、オペレータの確認が不要な自動プリントの対象である場合には直ちにプリントがなされ、オペレータの確認が必要な手動プリントの対象である場合にはその確認が終了するまでプリントを停止することができる。したがって、自動プリントの対象である場合にもオペレータがその内

容を確認する必要がなくなり、さらに注文情報を連続して処理する場合にも手動プリントの対象となった注文情報についてはプリントが停止されていることから、プリント作業を常時監視する必要がなくなる。そしてこれにより、オペレータの負担を軽減し、プリント作業を効率よく行うことができる。

【 0 0 3 9 】

なお、上記実施形態においては、注文受付手段 2 1 において受け付けた注文ファイル F を一時保管手段 2 2 に一時的に保管しているが、直ちに識別手段 2 3 に入力して処理を行うようにしてもよい。この場合、識別手段 2 3 において手動プリントの対象であると判断された場合には、上記実施形態と同様に注文ファイル F は確認手段 2 4 において一時的に保管されることとなる。

【 0 0 4 0 】

また、上記実施形態においては、注文ファイル F に記述された注文情報の内容を判断して、注文情報に基づくプリントが自動プリントの対象であるか手動プリントの対象であるかを判断しているが、ユーザがユーザ端末 1 1 において自動プリントの対象であるか手動プリントの対象であるかの判断結果を注文情報に含ませるようにしてもよい。この場合、自動プリントの対象であるか手動プリントの対象であるかの判断は、ユーザが自ら行ってもよく、ユーザ端末 1 1 に識別手段 2 3 の機能を持たせることにより行ってもよい。これにより、ラボ 1 2 のプリント制御手段 1 7 においては、注文情報の内容を確認するのみで注文情報に基づくプリントが自動プリントの対象か手動プリントの対象であるかを判断できるため、処理を高速に行うことができる。

【 0 0 4 1 】

さらに、上記実施形態においては、識別手段 2 3 において図 3 に示すプリント種別と上限枚数とを表すテーブルを参照して、自動プリントの対象であるか手動プリントの対象であるかを判断しているが、プリントサイズ、感光材料の種類、画像データの種類（J P E G、F l a s h P i x など）や、これらの組み合わせを自動プリントか手動プリントかの判断の対象としてもよい。例えば、プリントサイズについては通常の L サイズであれば自動プリントの対象とし、A 4 等の特殊なサイズの場合にはプリンタ 1 8 のカートリッジを交換する必要があるため、

手動プリントの対象とすればよい。また、感光材料が使用頻度の高い艶ありの場合には自動プリントの対象とし、使用頻度の低い艶消しの場合にはプリンタ 1 8 のカートリッジを交換する必要があることから手動プリントの対象とすればよい。また、画像データについては通常使用される J P E G 形式の画像データの場合には自動プリントの対象と判断すればよく、F l a s h P i x 等特殊なファイル形式の場合には、手動プリントの対象とすればよい。

【0042】

また、上記実施形態においては、ユーザはネットワーク 1 9 を介して注文ファイル F をラボ 1 2 に転送しているが、注文ファイル F を F D などのメディアに記録してラボ 1 2 に持ち込むようにしてもよい。この場合、プリント制御手段 1 7 の注文受付手段 2 1 においては、メディアから注文ファイル F が読み出されて、処理が行われることとなる。

【0043】

さらに、上記実施形態においては、ラボ 1 2 において読取手段 1 3 において得られた高解像度の画像データ S H をラボ 1 2 のデータベース 1 4 に蓄積しているが、これらのデータをラボ 1 2 に保管することなく、ネットワーク 1 9 を介して、あるいは C D - R、M O 等の大容量メディアに記録してユーザに提供してもよい。この場合、ユーザは注文ファイル F とともに、プリントの対象となる高解像度の画像データ S H をネットワーク 1 9 を介して、あるいはメディアに記録してラボ 1 2 に受け渡せばよい。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施形態によるプリント制御装置を適用したネットワークフォトサービスシステムの構成を示す概略ブロック図

【図 2】

プリント制御手段の構成を示す概略ブロック図

【図 3】

識別手段に記憶されたテーブルの例を示す図

【図 4】

一時保管手段に保管された注文情報の内容の例を示す図

【図 5】

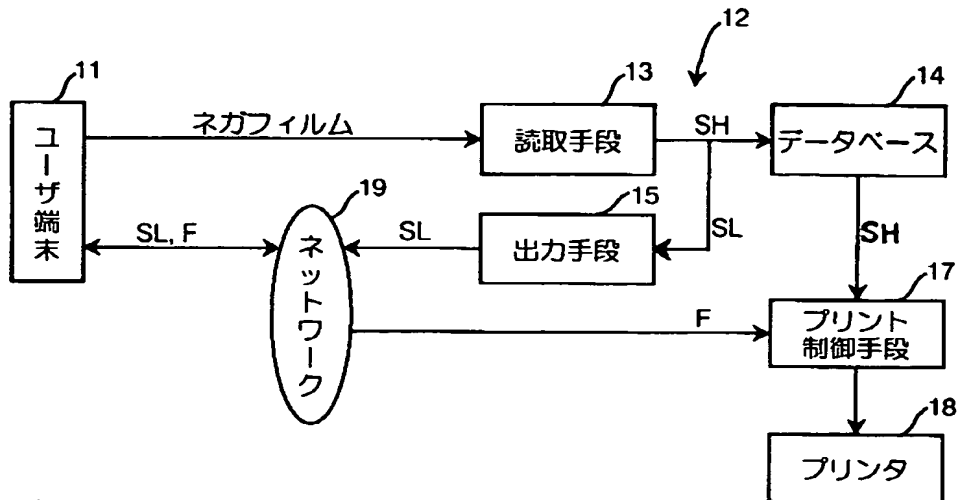
本実施形態の動作を示すフローチャート

【符号の説明】

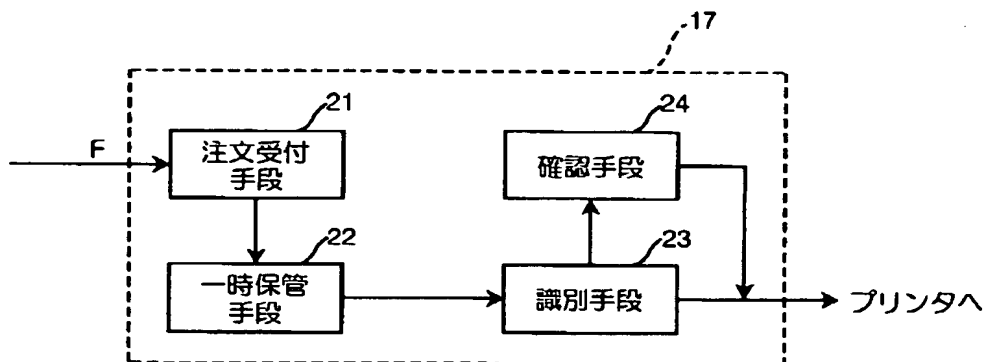
- 1 1 ユーザ端末
- 1 2 ラボ
- 1 3 読取手段
- 1 4 データベース
- 1 5 出力手段
- 1 7 プリント制御手段
- 1 8 プリンタ
- 1 9 ネットワーク
- 2 1 注文受付手段
- 2 2 一時保管手段
- 2 3 識別手段
- 2 4 確認手段

【書類名】 図面

【図 1】



【図 2】



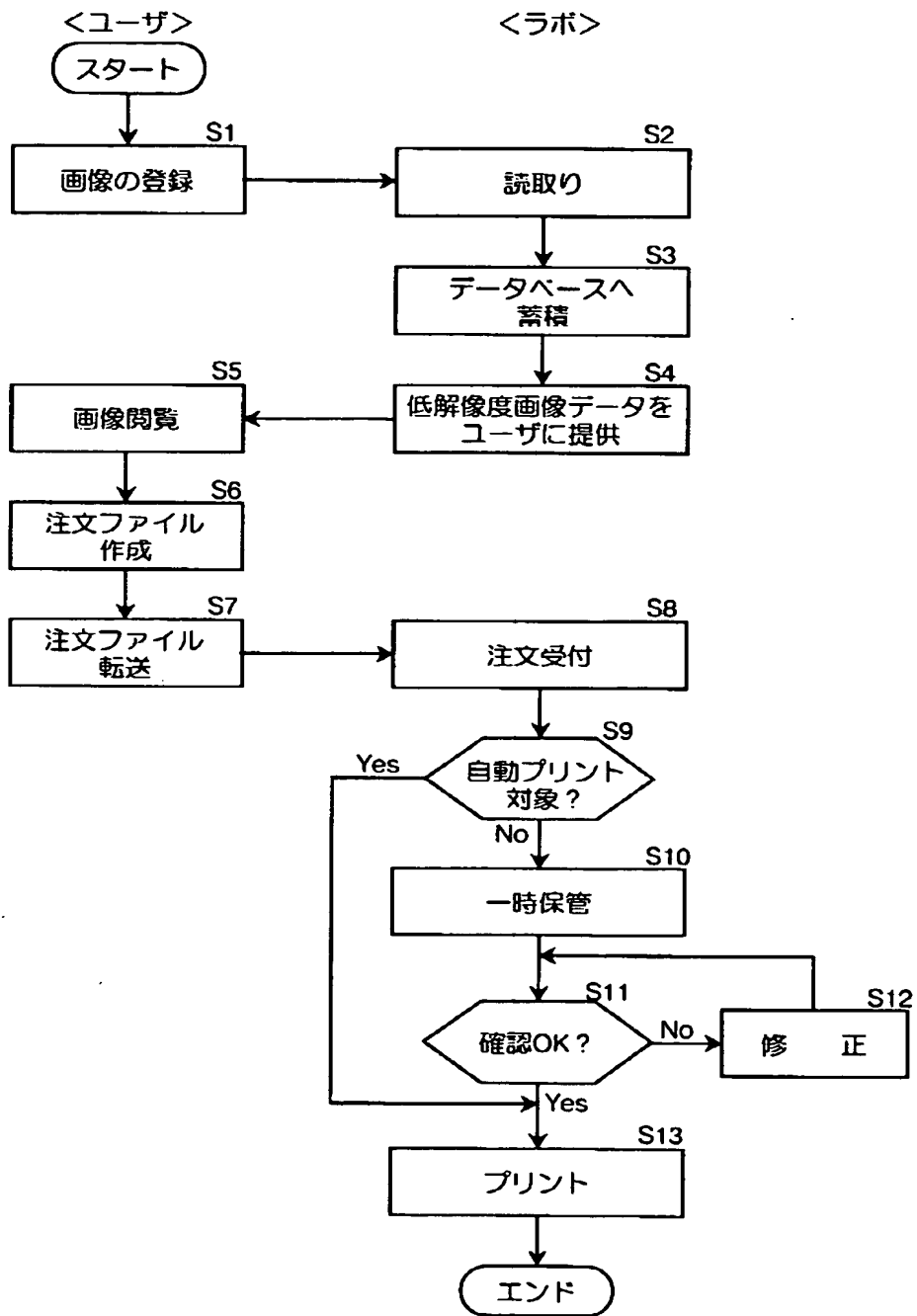
【図 3】

プリント種別	上限枚数
ポストカード	10
一般プリント	100

【図 4】

番号	品種	枚数
001	ポストカード	30
002	一般プリント	10
003	ポストカード	10

【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 注文情報に応じてプリントを行う際に、ラボのオペレータの負担を軽減する。

【解決手段】 ネットワークを介してラボに転送された注文ファイルFはプリント制御手段 1 7 に入力され、注文受付手段 2 1 に受け付けられる。注文ファイルFは一時保管手段 2 2 に一時的に保管され識別手段 2 3 に入力される。識別手段 2 3 では注文ファイルFに記述された注文情報に基づくプリントが、自動プリントの対象か手動プリントの対象かを判断する。前者の場合は注文情報および対象となる画像データがプリンタに入力されてプリントが行われる。後者の場合には確認手段 2 4 にて注文ファイルFが一時保管される。オペレータは定期的の確認手段 2 4 において手動プリントの対象となる注文ファイルおよびプリント内容を確認した後に、注文ファイルFおよび対象となる画像データをプリンタに入力し、プリントを行う。

【選択図】 図 2

認定・付加情報

特許出願の番号	平成 1 1 年 特許願 第 2 8 9 1 3 1 号
受付番号	5 9 9 0 0 9 9 3 4 5 4
書類名	特許願
担当官	第一担当上席 0 0 9 0
作成日	平成 1 1 年 1 0 月 1 8 日

<認定情報・付加情報>

【特許出願人】

【識別番号】	000005201
【住所又は居所】	神奈川県南足柄市中沼 2 1 0 番地
【氏名又は名称】	富士写真フイルム株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】	100073184
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜 3 - 1 8 - 2 0 B E N E X S - 1 7 階 柳田国際特許事務所
【氏名又は名称】	柳田 征史

【選任した代理人】

【識別番号】	100090468
【住所又は居所】	神奈川県横浜市港北区新横浜 3 - 1 8 - 2 0 B E N E X S - 1 7 階 柳田国際特許事務所
【氏名又は名称】	佐久間 剛

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000005201]

1. 変更年月日	1990年 8月14日
[変更理由]	新規登録
住 所	神奈川県南足柄市中沼210番地
氏 名	富士写真フイルム株式会社